

インベストメント事業本部は、長期的な視点でお客さまに寄り添い、資本市場や投資家の視点を踏まえた資本戦略の高度化を支援しています。商業銀行機能と投資銀行機能を一体的に提供し、デットとエクイティを組み合わせた柔軟な金融ソリューションにより、資金調達や財務アドバイザー、M&A等の成長支援を推進し、企業価値向上と持続的成長に貢献します。



これまで培ってきた伴走力に投資銀行の翼を加え、
お客さまの企業価値の新たなステージに向けて
ともに羽ばたいていきます

常務執行役員
インベストメント事業本部長

中島 秀記

本部長メッセージ

経営者がレバレッジを効かせた自社の成長戦略を実行しようとするとき、戦略・ガバナンスを構築しながら長期的に取り組む必要があります。しかしながら、その実現のために必要となる、真に伴走できる戦略・財務のプロフェッショナルパートナーが企業規模や地域によっては圧倒的に不足しています。この「空白地帯」を埋め、企業の成長を支えることがインベストメント事業本部の役割です。

私たちは、企業の長期的成長を「点」だけではなく「面」で捉えていきたいと考えます。販売先、仕入先、関連企業——そのネットワーク全体を俯瞰し、経済圏として面的に支援していく。成長に向けた戦略立案から、設備投資・海外展開・M&Aの実行支援、そのために必要となる資本政策の設計、財務構造の変革、ストラクチャードファイナンスやエクイティファイナンスの構築に至るまで、企業価値向上に必要な様々な機能を揃え、デット・エクイティ双方にわたるリスクテイク機能を核に、お客さまのビジョンを描き切り実行する——それが私たちのブティック的投資銀行としての存在意義です。

あくまでもお客さまの企業価値向上、社会的使命の実現への想いなどを最優先にして、プロフェッショナルとしてのインテグリティを貫く。これが我々の矜持であり、すべての行動の原点です。お客さまと険しい経営の道のりを長期的な信頼関係のもとで共に歩み、私たち自身も様々な視座をもって最高水準の専門性を磨き続ける。お客さまとともに考え、ともに創り、ともに変わり続けてまいります。

対処すべき課題

大型の設備投資やM&Aによる事業領域の拡大など、積極的な成長投資に踏み出す企業が増えています。そのチャレンジは大きなリスクテイクを伴うことが多いものであり、経営戦略・財務戦略にわたる高度な専門知見と、デット・エクイティ双方を組み合わせた柔軟な資金調達手法の活用が不可欠です。商業銀行機能と投資銀行機能を、企業サイドに立って一体的に提供し成長を共に実現する真のパートナーへの期待が高まっています。

一方で、こうした高度な金融サービスは大企業や一部の都市部企業には提供されていても、中小・中堅企業に対しては十分に行き届いておらず、成長投資やM&A、資本政策等を支える投資銀行機能の提供が空白地帯となっていることが課題です。

インベストメント 事業本部 の戦略

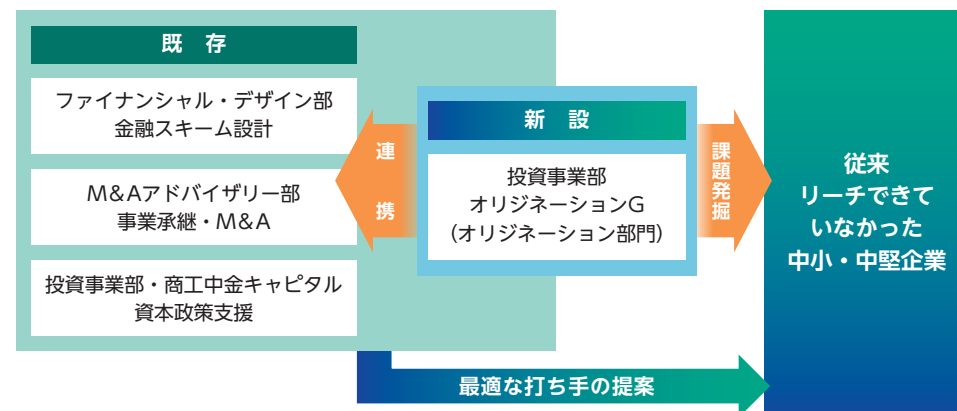
全国ネットワーク × 高度プロダクト提案を行う組織体制を構築
より幅広い企業の多様なニーズに対応

商業銀行と投資銀行を融合したフルライン金融サービスを拡充
資本政策分野でもお客さまの企業価値向上に貢献

オリジネーショングループを新設し、複合的な経営課題解決策を提案

これまで、最適な金融スキームを設計するファイナンシャル・デザイン部、事業承継やM&Aを支援するM&Aアドバイザリー部、資本面から企業支援を行う投資事業部にて、お客さまの経営課題に対するソリューションの提供を行ってきました。一方、経営課題は多様化かつ複雑化が進んでいることから、各ソリューションを複合的に検討、提案を行うオリジネーショングループを新設しました。

お客さまとの対話の中で発掘された経営課題、成長ニーズ等に対し、オリジネーショングループが各部の既存機能を有機的に活用し、最適なソリューションを設計します。インベストメント事業本部内で一気通貫の高度なソリューション提供体制を構築することで、投資家・資本・企業を集めてつなぎ、中小・中堅企業の成長投資を加速していきます。



投資銀行機能を実装し、資本政策課題の解決をサポート

守りから
成長へ

中小・中堅企業の中には、飛躍的な成長に向けて、エクイティの調達を含む投資銀行ニーズのある企業がある一方で、投資銀行サービスが届きにくい空白地帯となっていました。

商工中金は、こういった課題に対応すべく、エクイティ領域での成長支援を強化し、商業銀行×投資銀行の機能をシームレスにつなぐことで独自の価値提供を行ってまいります。

TOPIC

商工中金グループ初の事業承継ファンドを設立

商工中金は、地域経済を支える中小・中堅企業の事業承継に対する課題に対応するため、2026年4月にグループ会社の商工中金キャピタルを無限責任組合員(GP)、商工中金を有限責任組合員(LP)とする、商工中金グループ初の事業承継ファンド「スターチス1号ファンド」を設立しました。

資本提供に加え、経営人財の派遣、ガバナンス体制の構築、事業戦略・財務戦略の高度化など、実効性を重視した支援を行い、中小・中堅企業の中長期的な成長を支援してまいります。



連携事例

ストームハーバー証券株式会社と顧客紹介業務にかかる アライアンス契約を締結

商工中金は、中小・中堅企業の皆さまに対して、資本市場を活用した資金調達や財務アドバイザリーサービス等を提供するため、2026年3月にストームハーバー証券株式会社と戦略的アライアンス契約を締結しました。

従来の商業銀行機能に加え、同社が有する投資銀行機能を提供することで、課題解決および成長戦略支援の実行力を一層強化し、中小・中堅企業の企業価値向上に貢献してまいります。